

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 車エビ養殖場設備強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ		
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 -1-(6)	
事業内容	本町の基幹産業である水産業の経営安定化を図り、主要品目である車エビの品質及びブランド力向上のために必要な、車エビ養殖場の水門及び排水管の整備、発電機、プレハブ冷凍庫の設置等を行った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,866	22,113			
		(b)予算現額	4,725	32,948			
		(c)増減額(b-a)	141	10,835			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	4,725	32,948			
	B.執行済額		4,725	32,262			
	うち交付金充当額		3,780	25,809			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.9%			
予算の状況の説明		・事業効果の早期発現を図るため、事業計画の見直しにより当初予算から補助金を10,835千円を増額補正した。 ・不要額686千円は、入札残による補助金の減額である。 ・計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	中央排水管整備 3基	目標	()	(3基)	()	()	
		実績		3基			
	水門改修 1基	目標	()	(1基)	()	()	
		実績		1基			
	発電機整備 3基	目標	()	(3基)	()	()	
		実績		3基			
	プレハブ冷凍庫 1基	目標	()	(1基)	()	()	
		実績		1基			
達成状況説明	中央排水管3基、水門改修1基、発電機3基、プレハブ冷凍庫1基を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	中央排水管整備 3基	目標	()	()	(3基)	()	()
		実績			3基		
	水門改修 1基	目標	()	()	(1基)	()	()
		実績			1基		
	発電機整備 3基	目標	()	()	(3基)	()	()
		実績			3基		
	プレハブ冷凍庫 1基	目標	()	()	(1基)	()	()
		実績			1基		
	進捗状況説明	・今回の施設整備により、車エビの品質向上及び安定供給できる生産体制が整備された。 ・停電時に電気供給することで品質、生産に支障を与えることなく供給できた。					

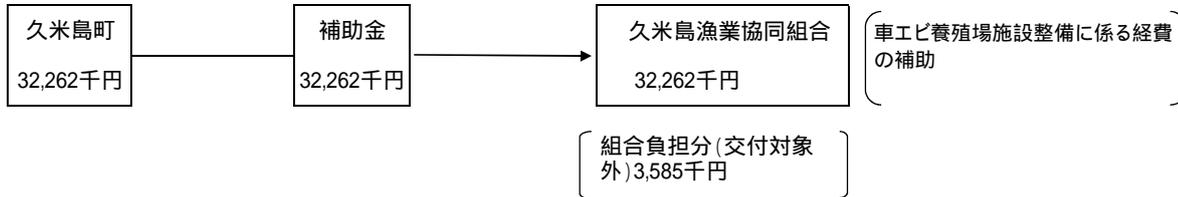
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	中央排水施設の整備により、排泄物や残餌等を除去するための池清掃が減り、危険な潜水作業が減少した。 また、発電機は非常時に即対応できるよう組織体制(メンテナンス等)の強化を図る必要がある。	引き続き生産体制の強化を図る施設整備を行う必要がある。 今回の施設整備により、車エビの品質及び生産体制が向上したことにより、組合経営の健全化に繋げる必要がある。

今後の取り組み方針

今後は、漁協を中心に主要な市場に販売促進活動を実施し、養殖車エビの販路拡大を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
35,847	32,262	25,809	6,453	3,585



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 受益者負担については車エビ養殖場施設整備に必要な経費について負担しており妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 漁港施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ		
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 -1-(6)	
事業内容	本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要漁港の一つである鳥島漁港に漁船巻揚機(ウインチ)を設置した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	0	5,470			
		(b)予算現額	0	6,078			
		(c)増減額(b-a)	0	608			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		0	6,078			
	B.執行済額		0	5,953			
	うち交付金充当額		0	4,762			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	97.9%			
予算の状況の説明		・事業計画の見直しにより、当初予算から補助金を608千円増額補正した。 ・不要額125千円は、入札残による補助金の減額である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	漁船巻揚機15トン型 1基	目標	()	(1基)	()	()	
		実績		1基			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	鳥島漁港に漁船巻揚機15トン型1基を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	漁船巻揚機(ウインチ)の設置	目標	()	()	(1基)	()	()
		実績			1基		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	大型漁船は重機等をリースし漁船を陸揚げしている状況であったが、設備を導入したことにより労働負担や経費負担が軽減された。					

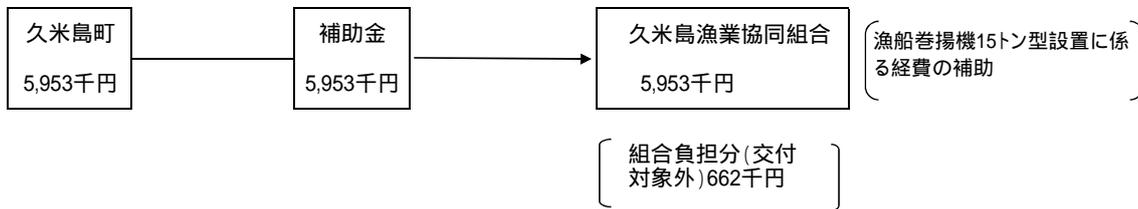
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	鳥島漁港に巻き上げ機を設置し、台風襲来時における大型船の陸揚げが可能となり、水産業の振興を図る環境を整備することができた。	大型漁船が増加傾向にあるため、計画的に設備を導入し、漁民の労働負担や経費負担を軽減し安定経営に繋げる。

今後の取り組み方針

今後は漁協において、巻き上げ施設の適正な管理・運用を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,615	5,953	4,762	1,191	662



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 受益者負担については漁船巻上機設置に必要な経費について負担しており妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - くめじま山羊振興活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-ア	
	担当部課名	産業振興課		事業実施(予定)年度	平成25～28年度		おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 - 1 - (6)
事業内容	山羊の優良品種の導入と普及、山羊牧場の建設により、地域ブランド「くめじま山羊」の確立と全町的な肉用山羊生産供給体制を確立し、山羊生産農家の活性化と所得増を図ると共に地産地消と観光資源としての山羊食文化の推進を図った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	0	1,453			
		(b)予算現額	0	1,453			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	0	1,453			
	B.執行済額		0	1,192			
	うち交付金充当額		0	953			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)			82.0%			
予算の状況の説明		・不用額261千円は、研修内容を見直したことによる報償費及び旅費の減額である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	研修会の実施(4回)	目標	()	(研修会4回)	()	()	
		実績		研修会2回			
	視察研修会の実施(1回)	目標	()	(視察研修1回)	()	()	
		実績		視察研修1回			
	山羊舎基本計画・基本設計	目標	()	(基本設計策定)	()	()	
		実績		基本計画策定			
	達成状況説明		・研修会は4回予定していたが、講師や研修内容を検討した結果2回実施した。 ・県畜産研究センターや優良山羊農家3ヶ所を視察し、基本計画を作成した。 ・調査・検討結果を基に山羊振興の拠点となる山羊舎の基本設計を策定した。				
	成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度
研修会の実施(4回)		目標	()	()	(研修会4回)	()	()
		実績			研修会2回		
視察研修会の実施(1回)		目標	()	()	(視察研修1回)	()	()
		実績			視察研修1回		
山羊舎基本計画・基本設計		目標	()	()	(基本設計策定)	()	()
		実績			基本設計策定		
進捗状況説明		・研修会の実施は目標を達成することができなかったが、研修内容を充実させたことで事業目的は達成することができた。 ・山羊農家の生産意欲も高まり、H26年5月23日には山羊生産組合を設立した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 研修会の回数が目標に達しなかったが、研修内容を充実させたことで目的を達成した。 生産組合の設立など新たな産業の創出及び育成に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も定期的に勉強会・研修会を開催し、山羊生産組合の育成を図るとともに、組合を主体とした、山羊の安定した生産供給体制の構築を図る。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 山羊生産の拠点となる山羊舎の建築。 山羊の多頭飼育方法を確立し、新たな産業創出を図る。 大手精肉業者が協力を申し出ているので、山羊の生産及び供給体制の確立を目指す。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	1,192	1,192	953	239	0
<pre> graph LR A[久米島町 1,192千円] --> B[報償費 24千円] A --> C[旅費 139千円] A --> D[委託料 1,029千円] D --> E["(株)桜設計工房 1,029千円"] B --- B1["(講師謝礼金 2名×1件)"] C --- C1["(先進地視察 5名×1件 講師費用弁償 2名×1件)"] E --- E1["(山羊舎基本設計)"] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		久米島町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2 - 久米島紬販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ			
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(4)		
事業内容	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販即訪問等を支援した。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,407	2,250				
		(b)予算現額	1,914	2,250				
		(c)増減額(b-a)	493	0				
		(d)繰越額	-	-				
	A.計(b+d)		1,914	2,250				
	B.執行済額		1,914	1,997				
	うち交付金充当額		1,531	1,597				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	88.8%				
予算の状況の説明		不要額253千円は、展示販売会の収益に伴う補助金の減額である。 当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・島外での展示会開催数	6回	目標	(4回)	(6回)	()	()	
			実績	5回	5回			
	・商品開発試作品製作数	6反	目標	(-)	(6反)	()	()	
			実績	-	5反			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 新たな販路を開拓するため、展示販売会を5回開催した。 草木染めの試作品を5反製作した。 							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	・島外での展示会開催数	6回	目標	()	(4回)	(6回)	()	()
			実績		5回	5回		
	・商品開発試作品製作数	6反	目標	()	(-)	(6反)	()	()
			実績		-	5反		
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 当初計画していた展示販売会と同時期に別の展示会を開催することになったため、開催数を減らした。 予定していた草木染めを染色の種類が少ない土染めに変更したため、試作品の数が1反減になった。 展示販売会については、紬従事者が参加し、紬の説明、実演等を行ったことにより、幅広い客層に久米島紬をPRすることができ、販売促進に繋がった。 						

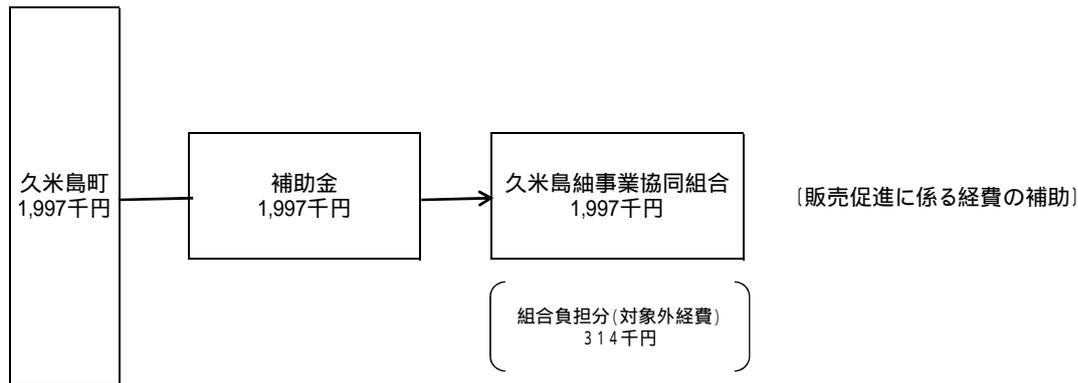
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな販路拡大を目標に展示会開催数を増やすことが課題である。 ・各展示会の説明員、講師が特定の細従事者に限られてきているため、他の従事者が対応できるように改善していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての細従事者が販売促進、幅広い層の顧客獲得に繋がる接客技術の習得等、資質向上にむけての研修等を充実させていく必要がある。 ・他産地の展示会等を参考にしながら、内容を充実させ幅広い客層のニーズに対応できるような展示会開催を目指す。 ・老若男女を問わず、手軽に購入できる「久米島紬」製品の開発が必要である。

今後の取り組み方針

- ・他団体との連携をはかり、首都圏での展示販売会開催に取り組む。
- ・新商品開発のためのマーケティング調査を強化する。
- ・富裕層のみをターゲットにするのではなく、誰でも手軽に「久米島紬」を購入できる商品開発に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,311	1,997	1,597	400	314



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 受益者負担については販売促進に必要な経費について負担しており妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 海洋深層水全国展開事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ウ		
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(4)	
事業内容	海洋深層水関連商品の販路拡大を図るため、首都圏において開催される商談会への参加及びPR用パンフレットの作成を行った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,273	2,081			
		(b)予算現額	2,273	2,165			
		(c)増減額(b-a)	0	84			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		2,273	2,165			
	B.執行済額		2,273	2,165			
	うち交付金充当額		1,818	1,732			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・商談会出展(首都圏)2ブース(3日間)	目標	(-)	(2ブース(3日間))	()	()	
		実績	-	2ブース(3日間)			
	・PR用パンフレット作成4,000部	目標	()	(4,000部)	()	()	
		実績		10,000部			
達成状況説明	・商談会は2ブースに2事業所が出展し、100社を超える業者と商談する機会を得ることができた。 ・PR用パンフレットを10,000部作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・商談会出展(首都圏)2ブース(3日間)	目標	()	(-)	(2ブース(3日間))	()	()
		実績		-	2ブース(3日間)		
	・PR用パンフレット作成4,000部	目標	()	()	(4,000部)	()	(-)
		実績			10,000部		
	進捗状況説明	・商談会出展については、他の取水地と連携した首都圏の流通・小売業者等のパイヤーに対するPR・販路拡大に繋げることを目的に参加しているが、参加2社に3日間で面談社数が100社を超え、新たな販路開拓につなげることができた。					

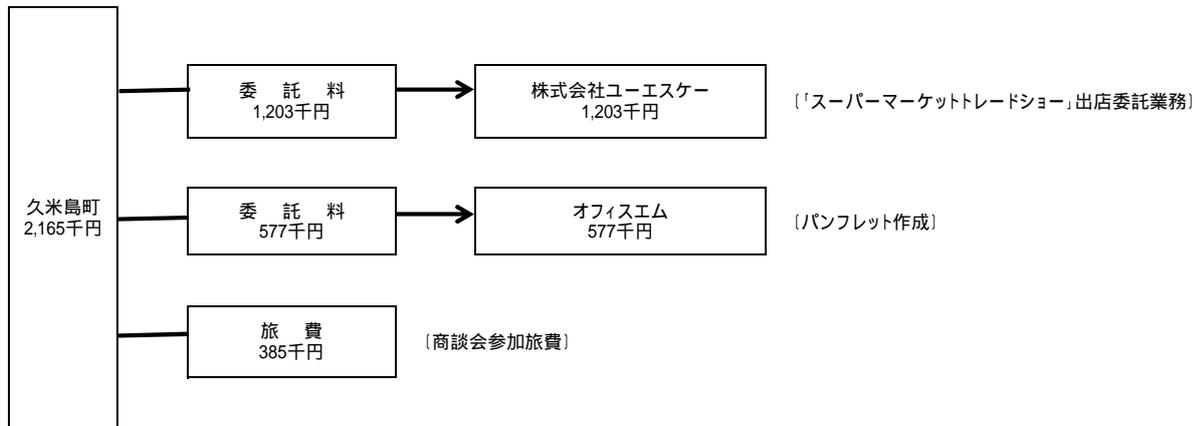
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・他取水地と連携することにより、海洋深層水の認知度は高まりつつあるが、「沖縄・久米島」の認知度を高める努力が必要である。	・作成したパンフレットを活用し、「沖縄・久米島の海洋深層水」の認知度の向上に取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

パンフレットを用い、海ぶどう、クルマエビに限らず、久米島の海洋深層水を活用した商品全般の認知度を高めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,165	2,165	1,732	433	0



資金の用途の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	出展委託業者は海洋深層水フェアの幹事団体である高知県海洋深層水協議会が選定した業者に依頼した。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 久米島特産品販路開拓事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(4)	
事業内容	本町特産品の販路拡大及び若手後継者の育成を図るため、流通・商品開発専門の外部アドバイザーやコーディネーターを配置し新商品の開発や既存商品のデザイン等の改良等を行う他、知名度向上のため県内・県外での開催される物産展への定期的な出店やビジネス戦略等の研修会等を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	0	44,575			
		(b)予算現額	0	44,575			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		0	44,575			
	B.執行済額		0	37,600			
	うち交付金充当額		0	30,080			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	84.4%			
予算の状況の説明		・不用額6,975千円が発生しているが、必要経費を見直したことによる委託料の減である ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・外部アドバイザーを設置し、商品の洗練化と差別化を図るとともに久米島在住のアドバイザーを育成する。	目標	()	()	()	()	
		実績		アドバイザー育成(1名)			
	・久米島商工会が実施する商品開発・販路拡大の支援	目標	()	()	()	()	
		実績		久米島商工会への支援			
達成状況説明	・外部アドバイザーを設置し、食品・流通関係専門家を招聘し、事業所に対する新商品開発・改善改良及び販路開拓等の支援を行った。 ・商品開発のノウハウや手法についての実習等、久米島のモノ作り、販売を担える、久米島在住のアドバイザーの育成に取り組んだ。 ・久米島統一ブランドのパッケージ開発した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・食品製造業者の育成及び指導(10社)	目標	()	()	(10社)	()	
		実績			10社		
	・久米島在住のアドバイザーの育成(1名)	目標	()	()	(1名)	()	
		実績			1名		
	・商品開発・販路拡大の支援(7件)	目標	()	()	(7件)	()	
実績				11件			
進捗状況説明	・食品・流通関係専門家を招聘し、食品製造業者へのセミナーの開催、アドバイザー育成、商品開発等、当初の目標を達成することができた。 ・商品開発においては、久米島統一ブランドパッケージの開発、既存商品のパッケージ改良等、参加事業所が積極的に取り組み、目標は達成できた。						

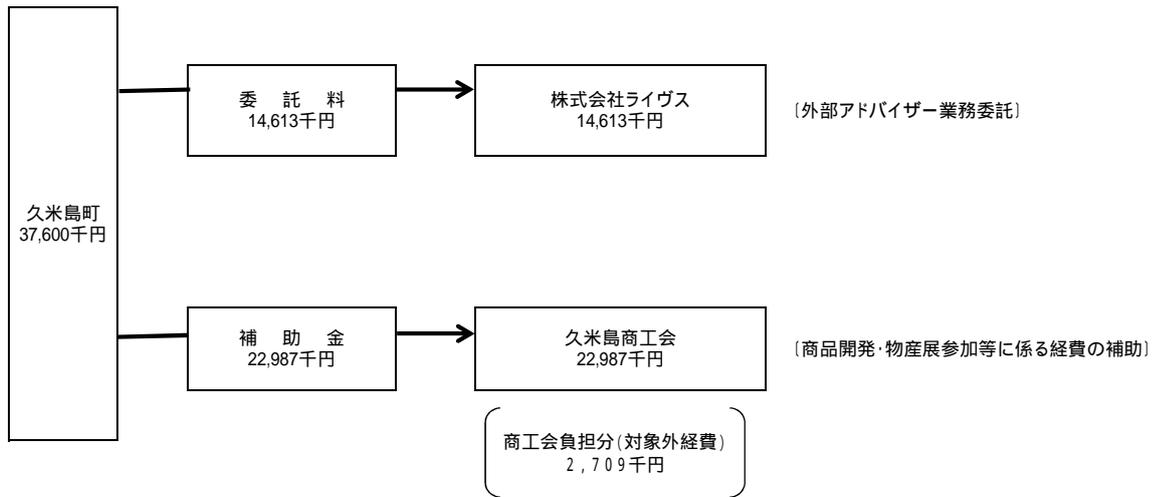
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みが短期間だったため商品開発・改良において、委託業者と参加事業所間で連携がうまく図れなかった。 ・統一ブランドパッケージのコストが高く今後検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加事業所が納得いく商品開発を目指し、十分にコミュニケーションがとれるようなスケジュールを作成する必要がある。 ・統一ブランド参加事業所に過度の負担がかからないようにパッケージのコストダウンを検討する。 ・すべての食品製造業者の意識改革を目指し、セミナーへの参加、商品開発・改良への取り組みなどを推進していく必要がある。

今後の取り組み方針

・食品・流通関係の専門家の指導により、新商品開発・既存商品の改良・改善により商品力を高めて新たな顧客の獲得を図るとともに、新たな販路開拓に繋げる支援を引き続き行う。
 ・統一ブランド「久米島印」の販路開拓に取り組む。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

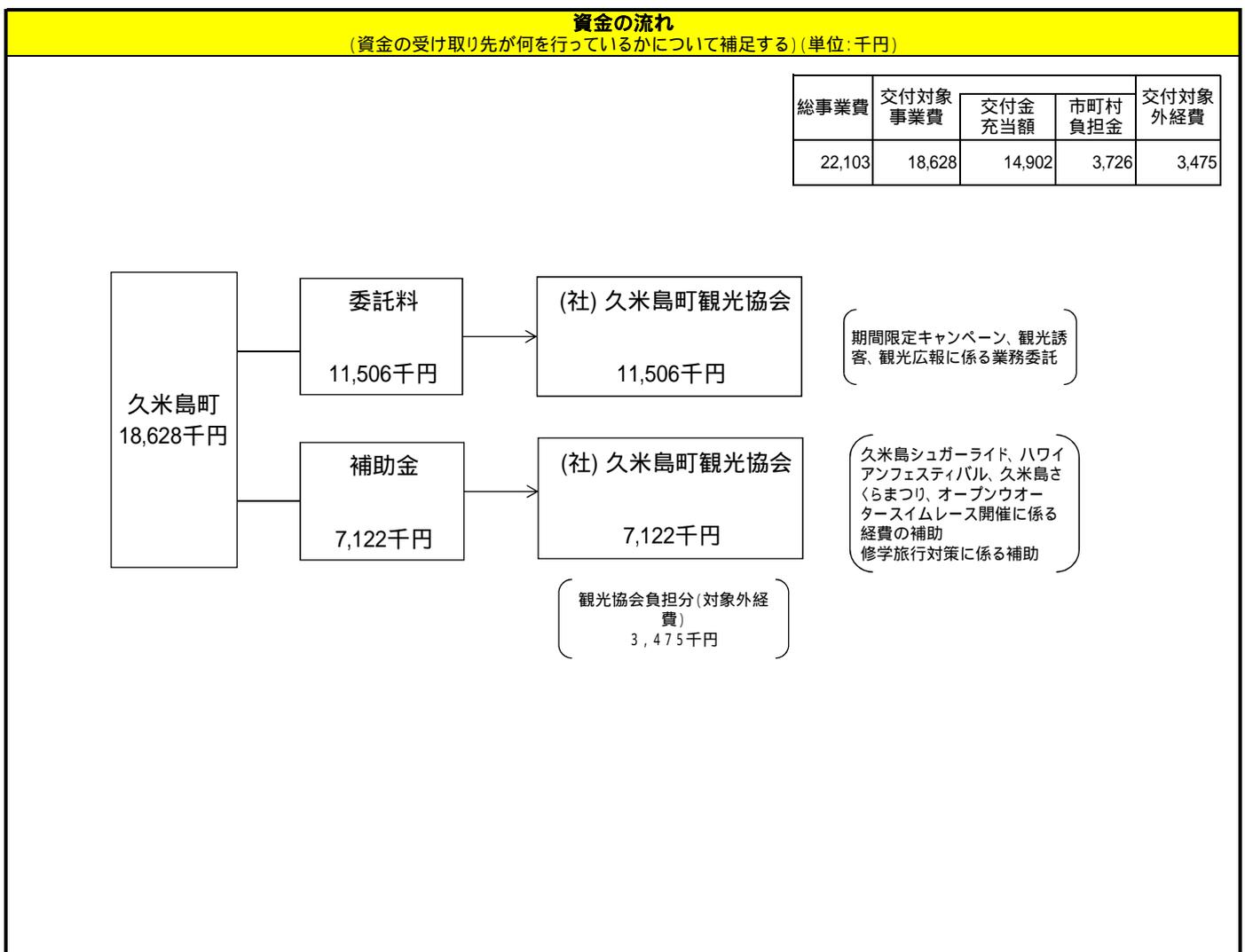
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
40,309	37,600	30,080	7,520	2,709



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を提案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 受益者負担については商品開発等に必要経費について負担しており妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 - 久米島観光振興促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 -1-(1)	
事業内容	久米島観光における効果的な誘客を図るため、広報活動を始めイベントの開催や旅行社招聘、期間限定キャンペーン、修学旅行対策等を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	11,268	32,826			
		(b)予算現額	10,574	32,826			
		(c)増減額(b-a)	694	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		10,574	32,826			
	B.執行済額		10,574	18,628			
	うち交付金充当額		8,457	14,902			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	56.7%			
予算の状況の説明		・不用額14,198千円が発生しているが、イベント開催経費及び対象外経費(大会参加料の増)を見直したことによる補助金の減である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・旅行社招聘:12社(12名)	目標	(10社(10名))	(12社(12名))	()	()	
		実績	11社22名	14社(24名)			
	・クーポン発券:5,000部	目標	(団体への支援)	(5,000部)	()	()	
		実績	(社)久米島観光協会へ支援	3,204部			
	・広報活動:7件	目標	(5件)	(7件)	()	()	
		実績	5件	5件			
	・イベント開催:4件	目標	(3件)	(4件)	()	()	
		実績	3件	4件			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行社の商品企画担当者の招聘を実施した。 ・旅行商品企画でクーポンを発券した。 ・TV番組の全国放送を行い、知名度向上を図った。 ・イベントを4件開催し、全国から誘客を図った。 ・激減した修学旅行の誘致を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・旅行社招聘:12社(12名)	目標	()	(10社(10名))	(12社(12名))	()	()
		実績		11社22名	14社24名		
	・クーポン発券:5,000部(バス利用1,760名)	目標	()	(1,400部)	(5,000部)	()	()
		実績		1,300部	3,204部		
	・広報活動:7件	目標	()	(5件)	(7件)	()	()
		実績		5件	5件		
	・イベント開催:4件(参加人数2,300名)	目標	()	(1,900人)	(4件 2,300人)	()	()
		実績		1,386人	4件 1,668人		
	・修学旅行対策:4校	目標	()	()	(4校)	()	()
実績				3校			
進捗状況説明	久米島への誘客を図るため旅行社招聘や広報活動、修学旅行対策事業やイベント等を実施し、効果的な誘客展開を行った。クーポンについては、旅行商品として旅行会社より販売を行った。昨年の実績を踏まえ、利用の多い商品に絞って成果をあげようと考えたが、結果的に利用可能な場所が狭まり、目標を達成できなかった。イベント開催事業ではスポーツや文化系イベント等を開催し、多方面からの誘客を図るために広報活動等を行ったが、目標達成には至らなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標数には届かなかったイベントがあったものの、参加者からの評価が高かったので募集方法に工夫が必要である。 ・桜まつりについては、昨年の課題であった駐車場や送迎等について解決するために会場を変更したが、誘客の増加には繋がらなかった。 ・シュガーライドについては、同日にサイクルイベントの開催があり、例年参加している団体が不参加であり、目標達成には至っていないものの昨年以上の結果を出している。 ・参加者の新規開拓にも力を入れる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜まつりを平成26年度は休止し、誘客効果の状況について検証したい。 ・各種イベントについては、募集方法や広報について、スポーツイベント関係者との意見交換を行い、最も効果的な手法を構築し参加者数の改善を図る。
今後の取り組み方針		
<p>イベント参加者のニーズに応え、魅力あるイベントにするために、広範囲な情報収集と人材育成を図り、誘客数の増加に努める。 スポーツイベントについては、参加者らの声のほか、県内や国内での動向等の情報を集めてイベント内容の充実に努める。</p>		



資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託業者は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を助成した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p> <p>受益者負担についてはイベント開催に必要な経費について負担しており妥当であったと考えている。</p>
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

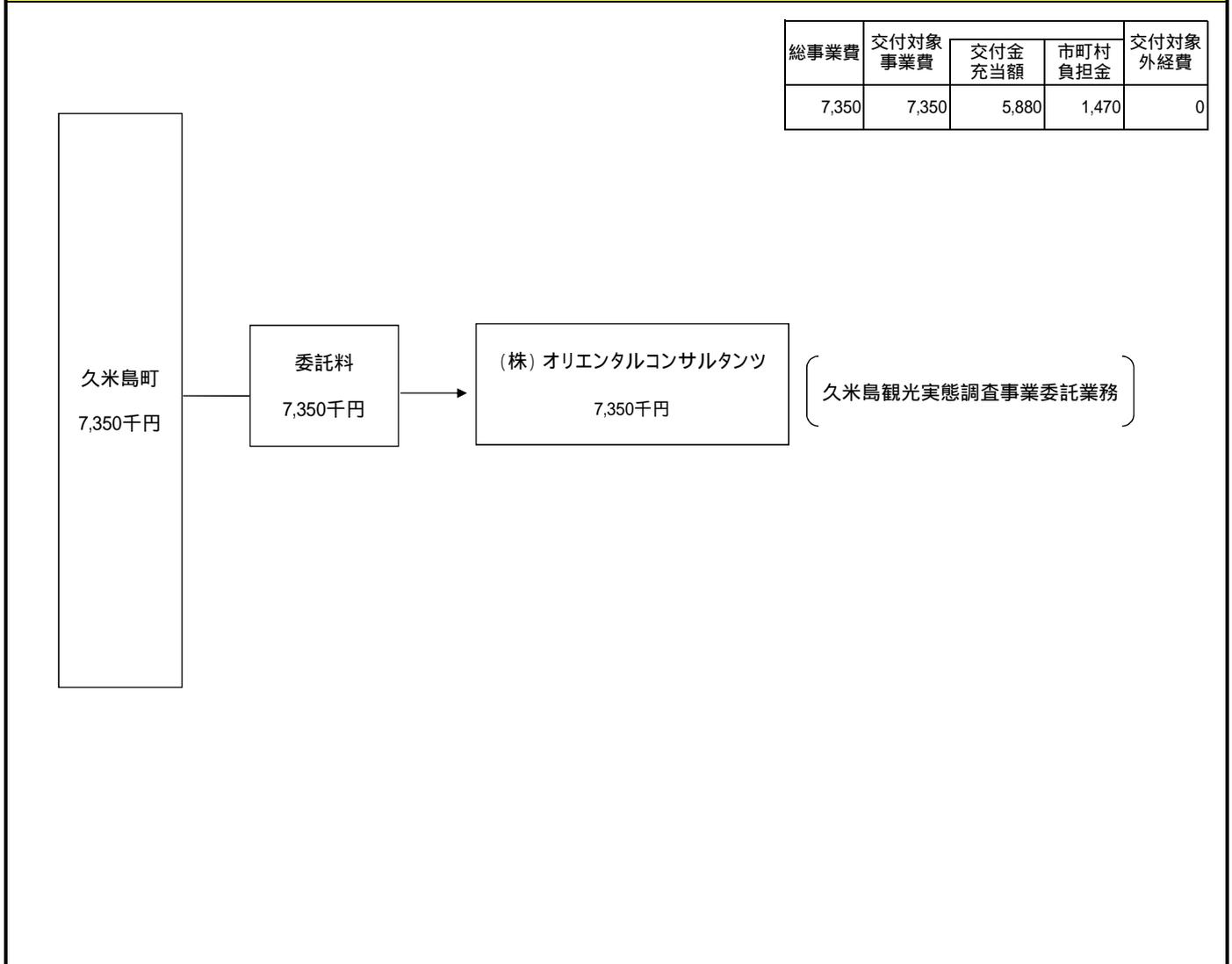
市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 - 久米島観光調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ア		
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)	
事業内容	久米島観光における効果的な誘客戦略を構築するため、マーケティング調査と現状実態把握を行い、変化が著しい旅行者のニーズ調査を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	0	7,504			
		(b)予算現額	0	7,504			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		0	7,504			
	B.執行済額		0	7,350			
	うち交付金充当額		0	5,880			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	97.9%			
予算の状況の説明		・不用額154千円が発生しているが、必要経費を見直したことによる委託料の減である ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光動態調査の実施	目標	()	(観光動態調査)	()	()	
		実績		調査報告書 観光振興計画書			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・久米島観光実態調査(観光客アンケート・県内外大手旅行社ヒヤリング・島民意識調査・WEBアンケート等)を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	観光動態調査の実施	目標	()	()	(観光動態調査)	()	()
		実績			調査報告書 観光振興計画書		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・調査をもとに課題を整理し、久米島町観光振興計画策定委員会を発足し、久米島町観光振興計画書を作成した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・商工観光業関係者から、観光産業を取り巻く状況、観光客のニーズは常に変化することから、観光実態調査を毎年行ったほうがよいとの意見が多い。	・観光実態調査を定期的を実施することにより、実態に即した観光振興策の展開について検討する必要がある。

今後の取り組み方針

新しい観光ニーズに応えるため、平成27年度における調査が必要か検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、費目・費用	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 - 久米島観光WEBプロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘致活動の展開 - 1 - (1)	
事業内容	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	0	12,705			
		(b)予算現額	0	12,705			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		0	12,705			
	B.執行済額		0	12,600			
	うち交付金充当額		0	10,080			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	99.2%			
予算の状況の説明		・不用額105千円が発生しているが、必要経費を見直したことによる委託料の減である ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	国内大手の旅行及び宿泊予約サイトを活用した誘客促進	目標	()	(旅行・宿泊予約サイトの活用)	()	()	
		実績			旅行・宿泊予約サイトの活用(1社)		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・大手WEBサイト「じゃらんネット」において久米島の魅力を発信するプロモーションを実施した。 ・久米島観光情報フェイスブックと連動し、「いいね」の獲得、拡散を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	国内大手のWEBエージェントを活用し、春夏秋冬の情報を4回発信する。	目標	()	()	(4回発信)	()	()
		実績			4回発信		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・大手WEBサイト「じゃらんネット」において久米島の魅力を発信するプロモーションを春夏秋冬4回実施した。 ・久米島観光情報フェイスブックの「いいね！」が1ヶ月で16000件を超え、久米島に関心を寄せることができた。 ・久米島町及び久米島町観光協会ホームページにリンクを貼り、プロモーション効果を高めることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・WEBに掲載する情報提供にあたり数ある旅行WEBサイトのなかで、大手2社で利用率約70%程度を占めている。</p>	<p>・2社活用によりプロモーション効果を一層高める事ができるので、2社活用する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・旅行WEBサイト2社活用による魅力的なプロモーションを行う必要がある。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	12,600	12,600	10,080	2,520	0
<pre> graph LR A[久米島町 12,600千円] --> B[委託料 12,600千円] B --> C["(株)リクルートライフスタイル沖縄 12,600千円"] subgraph D [久米島観光WEBプロモーション事業委託業務] C end </pre>					
資金の流 れ、費 目 ・ 費 目 ・ 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明		
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託事業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>		
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 - 安心安全な観光まちづくり事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成25～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 - 1 - (1)	
事業内容	安心安全な観光まちづくりを目指し、津波被害対策として緊急避難階段等の実施設計を行った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		0	3,000			
			0	3,000			
			0	0			
			-	-			
		0	3,000				
	B. 執行済額		0	2,974			
	うち交付金充当額		0	2,379			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（%）(B/A)		0.0%	99.1%			
予算の状況の説明		・不用額26千円は、委託費の入札残である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	避難階段の委託設計の実施	目標	(-)	(委託設計の実施)	()	()	
		実績	-	委託設計の実施			
	目標 実績	目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	津波避難対策として緊急避難階段等の実施設計を行った。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	避難階段の委託設計の実施	目標	()	()	(委託設計の実施)	()	()
		実績			委託設計の実施		
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	津波被害対策として緊急避難階段を設置することで避難場所までに要する時間を短縮することができる。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	避難階段の勾配がきついため、高齢者への配慮が必要である。	工事施工を行いながら、勾配がきつければ、避難階段のルートを再検討する必要がある。

今後の取り組み方針

過去の被災状況を確認し、久米島町防災計画による避難場所までに要する時間を短縮するための整備を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,974	2,974	2,379	595	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 - ヤジャーガマ整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 -1-(1)		
事業内容	本町唯一の鍾乳洞であるヤジャーガマを観光施設としての利活用を促進するため、自然環境や生息する動植物に配慮した自然体験施設として整備した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,148	-	48,690		
		(b)予算現額	5,148	-	48,690		
		(c)増減額(b-a)	0	-	0		
		(d)繰越額	-	5,148	-		
	A.計(b+d)		5,148	5,148	48,690		
	B.執行済額		0	4,882	43,245		
	うち交付金充当額		0	3,906	34,596		
	次年度繰越額		5,148	-	0		
	執行率(%) (B/A)		0.0%	94.8%	88.8%		
予算の状況の説明		・不用額5,445千円は、委託費の入札残である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	駐車場(8台収容)、階段(6箇所、L=43m)の設置及び洞窟内遊歩道(295m)の整備	目標	()	(工事の実施)	()	()	
		実績		工事の実施			
(参考指標)	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	駐車場、進入階段、遊歩道整備等の工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	駐車場(8台収容)、階段(6箇所、L=43m)の設置及び洞窟内遊歩道(295m)の整備	目標	()	()	(工事の実施)	()	()
		実績			工事の実施		
	(参考指標)	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	自然環境や生息する動植物に配慮した自然体験施設として整備した。						

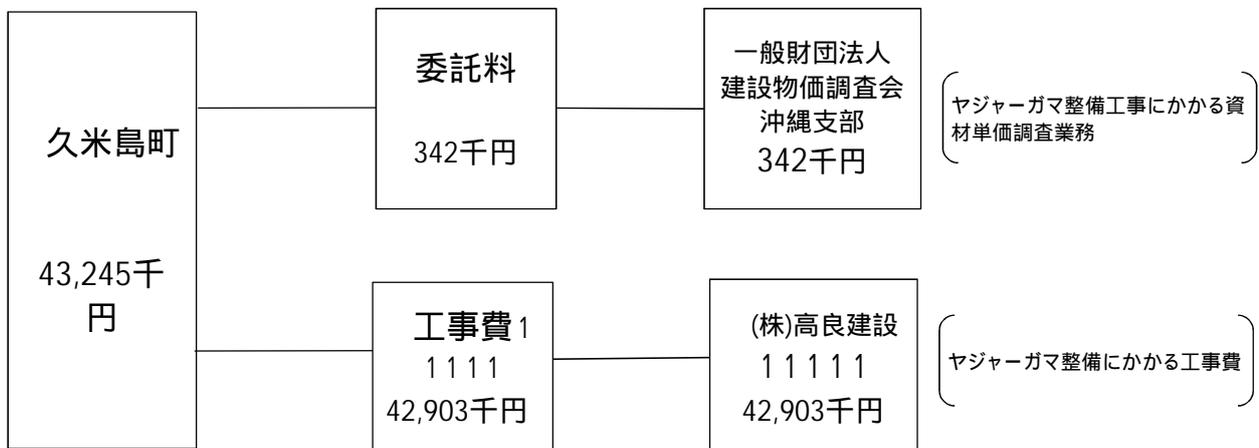
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	観光施設の利活用、自然環境に配慮した内容で工事を実施した。	当初計画のとおり、自然環境や生息する動植物に配慮した自然体験施設として整備する為、構造物の設置に対しては、利用者の安全性を確保する為のものに留めている。鍾乳洞周辺の形状を変更することは望ましくないので、これ以上の整備は行わない。

今後の取り組み方針

利便性、安全性が確保できたので、自然体験プログラム(修学旅行)や洞窟体験ツアー(観光客)など、利活用の向上に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
43,245	43,245	34,596	8,649	0



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

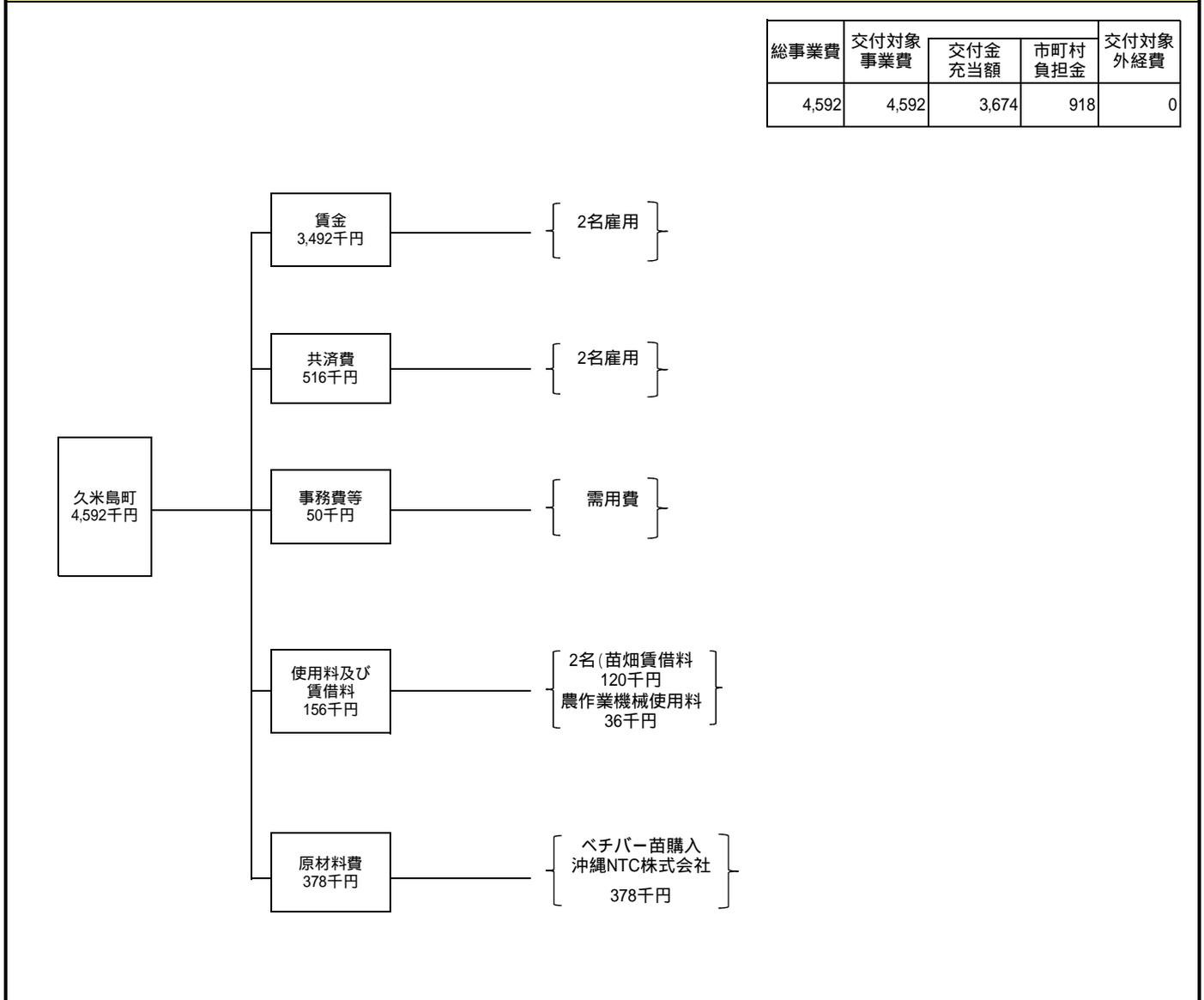
市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - 赤土等流出防止対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(1)-イ		
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全 -10-(1)	
事業内容	農地保全はもとより観光資源である海岸の保全を図るため、裸地状態の畑へグリーンベルト(ベチパー)の植栽や増殖を行うとともに、排水路に堆積した赤土のしゅんせつ等を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,389	5,694			
		(b)予算現額	2,255	5,694			
		(c)増減額(b-a)	1,134	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		2,255	5,694			
	B.執行済額		2,255	4,592			
	うち交付金充当額		1,803	3,674			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	80.6%			
予算の状況の説明		・不用額1,102千円は、降雨が少なく作業回数が減少したことによる、重機使用料及び消耗品等の減である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ベチパー苗が不足しているため、増殖(株分け)し裸地状態の圃場へ植栽を実施する。	目標	(植栽600m)	(植栽600m)	()	()	
		実績	植栽600m	植栽500m			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	グリーンベルト(ベチパー苗)の植栽を500mを植栽した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	ベチパー苗が不足しているため、増殖(株分け)し裸地状態の圃場へ植栽を実施する。併せて排水路の赤土等をしゅんせつを実施	目標	()	(植栽6箇所600m)	(植栽6箇所600m)	()	()
		実績		植栽6箇所600m	植栽5箇所500m		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	降雨が少なく赤土流出等が少なかったそのため、グリーンベルト(ベチパー)苗の裸地圃場への植栽が1箇所・100mの減になったが、農地から海岸への赤土流出を防止できた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	赤土流出防止(ベチバー苗)の増殖を図るため作業員を1名増にして実施した。農地への植栽は目標の600m設置箇所は6ヵ所であったが、降雨が少なかったため5箇所の500m設置した。ベチバー苗が不足で町民に対して満足な提供ができない状況である。	赤土流出防止を図るため、ベチバー苗を増殖し町民に供給できる状態にする。

今後の取り組み方針

農地保全や観光資源である海岸の保全を図るために、ベチバー苗を町民へ供給し赤土の流出を防ぐ必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の 流れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - 観光地美化緑化促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (12) - ア	
	担当部課名	環境保全課、博物館		事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 - 10 - (1)
事業内容							
観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光施設や公共施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃や各種イベント向け緑化を実施した。							
実施方法							
		直接実施	委託	補助	負担	その他 ()	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額		39,766			
		(b)予算現額		39,766			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	0	39,766			
	B.執行済額			31,295			
	うち交付金充当額			25,036			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	78.7%			
予算の状況の説明		・不用額8,471千円は、予算計上時の共済費算出誤りによる減及び備品購入の入札残である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	アクセス道路除草 4箇所	目標	()	(4箇所)	()	()	
		実績		4箇所			
	公園除草 9箇所	目標	()	(9箇所)	()	()	
		実績		9箇所			
	観光施設トイレ清掃 10箇所	目標	()	(10箇所)	()	()	
		実績		10箇所			
	文化財関係除草 30箇所	目標	()	(30箇所)	()	()	
		実績		30箇所			
イベント緑化 4箇所	目標	()	(4箇所)	()	()		
	実績		4箇所				
作業用草刈り機等(8台)導入	目標	()	(8台)	()	()		
	実績		8台				
達成状況説明	観光地としての魅力向上を図り、来訪者が快適かつ安全に見学・利用できるよう、観光客が訪れる観光施設や公共施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃や各種イベント向け緑化を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	アクセス道路除草 4箇所	目標	()	()	(4箇所)	()	()
		実績			4箇所		
	公園除草 9箇所	目標	()	()	(9箇所)	()	()
		実績			9箇所		
	観光施設トイレ清掃 10箇所	目標	()	()	(10箇所)	()	()
		実績			10箇所		
	文化財関係除草 30箇所	目標	()	()	(30箇所)	()	()
		実績			30箇所		
	イベント緑化 4箇所	目標	()	()	(4箇所)	()	()
実績				4箇所			
作業用草刈り機等(8台)導入	目標	()	()	(8台)	()	()	
	実績			8台			
進捗状況説明	観光客が訪れる観光施設や公共施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃や各種イベント向け緑化を実施したことにより、観光地としての魅力が向上した。						

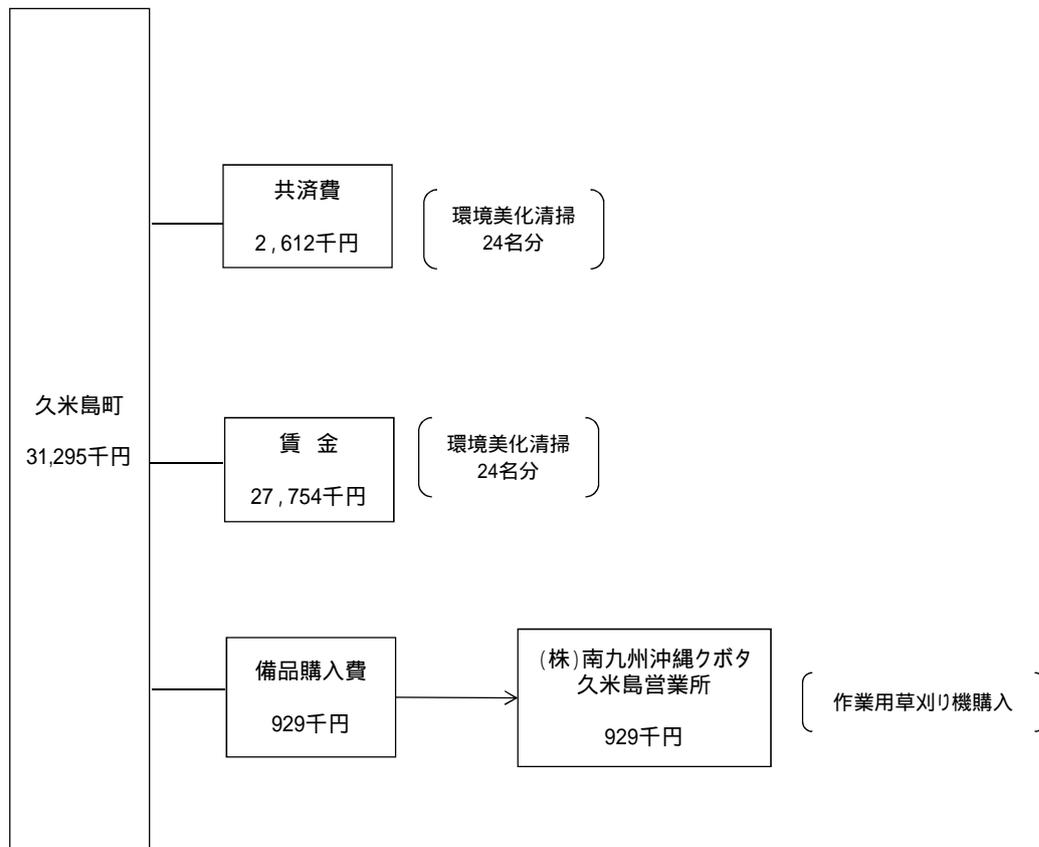
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・久米島町を訪れる来訪者や地域振興を目的としたイベント開催があるため、観光地の魅力化向上を図ることが必要である。	除草回数や作業内容について、効率的かつ効果的な方法を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

観光客が訪れる観光施設や公共施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃は継続的に取組を行い、観光地としての魅力向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,295	31,295	25,036	6,259	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	備品購入事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 - 沖縄らしい風景づくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 1 - (6) - ア	
	担当部課名	プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり - 3 - (2)
事業内容	本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、行政担当者のスキルアップを図り、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を助成した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,901	4,100			
		(b)予算現額	2,720	4,662			
		(c)増減額(b-a)	181	562			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		2,720	4,662			
	B.執行済額		2,720	4,662			
	うち交付金充当額		2,175	3,729			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・当初予算額よりも562千円増えているが、これは執行段階において景観形成助成金の助成対象及び助成額を見直したことによる補助金の増である。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・県内研修2回、県外研修2回	目標	準景観地区景観形成基準策定	(県内研修2回 県外研修1回)	()	()	
		実績	準景観地区景観形成基準策定	県内研修2回 県外研修1回×2名			
	・景観活動団体助成5団体	目標	()	(5団体)	()	()	
		実績		2団体			
	・景観形成助成2戸	目標	()	(2戸)	()	()	
		実績		2戸			
	達成状況説明		・県内・県外研修として、沖縄県が主催する「景観行政コーディネーター研修会及び現地研修会」に参加し、景観行政担当者として景観行政業務遂行に必要な地域住民との合意形成に関する事例・知識等の取得や歴史的景観保全地区の先進地の取組状況について研鑽を深めた。 ・景観活動団体助成として、町景観づくり活動団体に登録された2団体に対し助成金を交付した。 ・景観形成助成として、景観重点地区において、赤瓦屋根葺き替えを行った2戸に対し助成金を交付した。				
	成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度
・県内研修2回、県外研修2回		目標	()	準景観地区景観形成基準策定	(県内研修2回 県外研修2回)	()	()
		実績		準景観地区景観形成基準策定	県内研修1回×2名 県外研修2回×2名		
・景観活動団体助成5団体		目標	()	()	(5団体)	()	()
		実績			2団体		
・景観形成助成2戸		目標	()	()	(2戸)	()	()
		実績			2戸		
進捗状況説明		・研修については、沖縄県の主催する研修へ参加し、景観行政業務遂行に必要な知識等の取得や先進地の取組状況について研鑽を深めることができた。 ・景観活動団体助成については、目標5団体を達成していないので、今後、制度や実施した活動等の広報周知を多くし、活動団体を増やしたい。 ・景観形成助成については、重点地区から申請のあった2戸に対して助成を行った結果、良好な景観が形成された。					

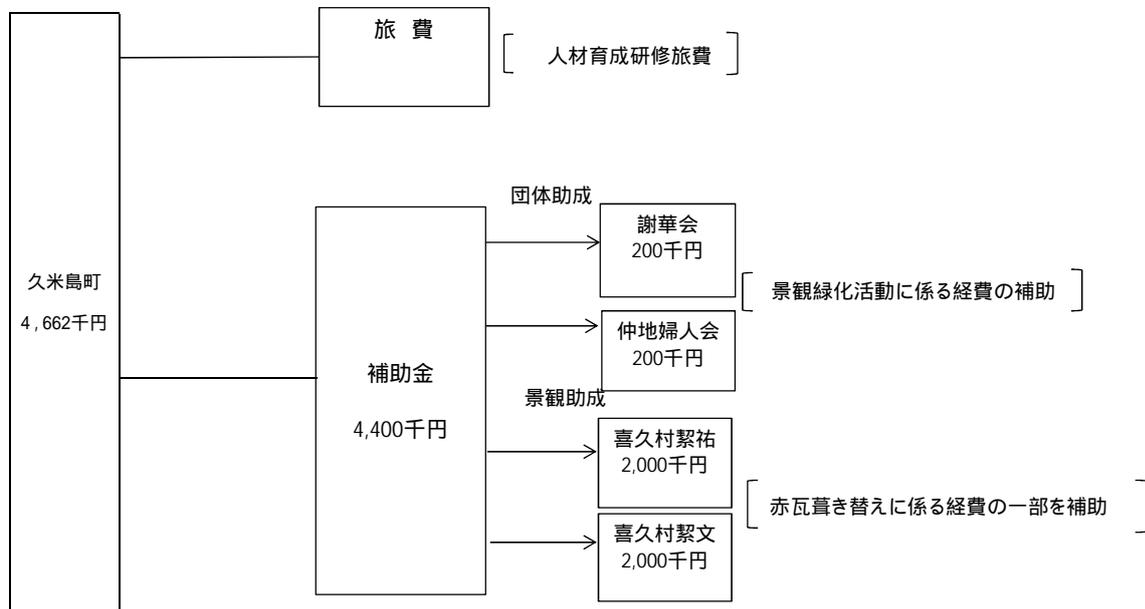
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・条例施行、助成制度が開始して間もないので、条例・助成制度について周知を徹底し、景観形成に対する町民の意識を醸成する必要がある。	・条例・助成制度についての広報回数を増やし、活動につながりそうな団体との情報交換を行い、活動団体の掘り起こしを行う。

今後の取り組み方針

・活動団体助成については、活動・成果目標を達成するために、助成金募集に加え、制度意義等の説明など広報回数を増やし、町民の景観形成に対する意識の醸成を図り、景観活動登録団体数を増やす。
 ・景観形成助成については、重点地区を中心に制度の周知を行い計画的に助成を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,662	4,662	3,729	933	0



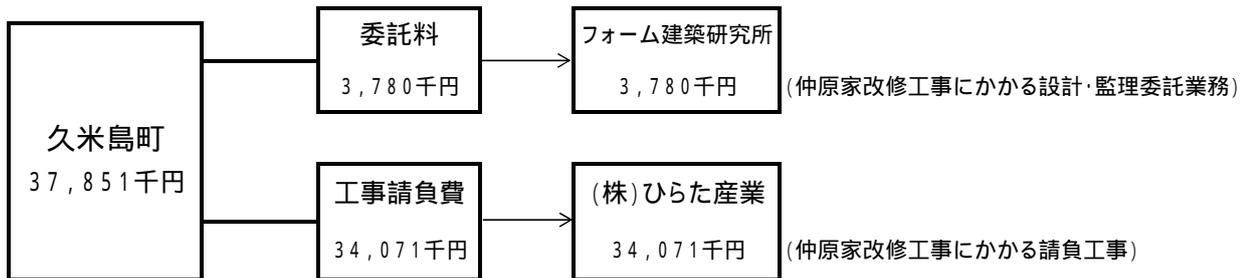
資金の流 れの点 検評 価目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	補助金交付先については、交付要綱の要件に基づくものであり、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 受益者負担については助成に必要な経費について負担しており妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 - 古民家活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 1 - (6) - ア		
	担当部課名	プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり - 3 - (2)	
事業内容	本町に数多く点在する伝統的な赤瓦の古民家を保全活用し美しい景観の創出を図るため、本町の偉人である仲原善忠生家の保全整備等を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	5,000	25,000			
	(b)予算現額	3,968	38,700				
	(c)増減額(b-a)	1,032	13,700				
	(d)繰越額	-	-				
	A.計(b+d)	3,968	38,700				
	B.執行済額	3,968	37,851				
	うち交付金充当額	3,174	30,281				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	97.8%				
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費は当初予定よりも改修箇所を追加する必要があったため、当初予算から工事費を13,700千円を増額補正した。 ・不用額849千円は、委託費及び工事費の入札残である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	仲原家改修工事の実施	目標	(活用計画の策定)	(改修工事)	()	()	
		実績	活用計画の策定	改修工事			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	古民家活用検討委員会にて策定された、活用計画に沿って改修工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	仲原家改修工事の実施	目標	()	(活用計画の策定)	(改修工事)	()	()
		実績		活用計画の策定	改修工事		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家活用検討委員会にて策定された、仲原善忠生誕の地「仲原家」活用計画に沿って改修工事を実施し目標を達成した。 久米島町古民家調査業務報告書 URL: http://www.town.kumejima.okinawa.jp/life/landscape/old_houses_investigation.html						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本町の偉人である仲原善忠生家を改修したことにより、「仲原家」は地域の文化・景観的財産であるという意識を地域住民と共有することができた。	仲原善忠先生の功績紹介や古民家の魅力発信など、利活用方法を工夫し保全・活用を図る。
	古民家を修復できる大工や職人が減少しているため、伝統技術の継承が課題である。	建設業協会と連携し伝統技術の継承に取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
「仲原家」を観光客や町民に広く活用してもらうために、町主催のイベント会場として利用するとともに、パンフレットやHP等により広報活動等を実施する。保存活用すべき伝統的古民家を計画的に整備する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
37,851	37,851	30,281	7,570	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託及び工事事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 - 個性豊かな文化の振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - イ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の担い手の育成 - 3 - (2)		
事業内容	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行なっている団体の行う保存継承イベント開催を支援した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,255	3,908			
		(b)予算現額	3,101	3,908			
		(c)増減額(b-a)	1,154	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		3,101	3,908			
	B.執行済額		3,101	3,468			
	うち交付金充当額		2,480	2,775			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	88.7%			
予算の状況の説明		・不用額440千円は、事業費見直しによる補助金の減額である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	久米島古典民謡大会の開催(1回)	目標	(古典民謡大会開催)	(古典民謡大会開催)	()	()	
		実績	古典民謡大会開催	古典民謡大会開催			
	久米島民俗芸能発表会の開催(1回)	目標	(民俗芸能発表会開催)	(民俗芸能発表会開催)	()	()	
実績		民俗芸能発表会開催	民俗芸能発表会開催				
達成状況説明	「第3回久米島民俗芸能発表会」「第4回久米島古典民謡大会」を主催する団体へ補助を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	古典民謡大会出演者数 20名 古典民謡大会来場者 250名	目標	(20人 250人)	(20人 250人)	(20人 250人)	()	(30人 270人)
		実績		24人 230人	21人 180人		
	民俗芸能発表会出場者 130名 民俗芸能発表会来場者 600名	目標	(130人 550人)	(130人 550人)	(130人 600人)	()	(150人 700人)
		実績		130人 600人	143人 400人		
進捗状況説明	・平成25年9月21日(土)、具志川改善センターにおいて第4回久米島古典民謡大会が開催された。小・中学生の部13名、一般の部8名(計21名)が参加し、来場者数は約180名で目標を達成できなかった。 ・平成25年11月30日(土)、具志川改善センターにおいて、第3回久米島民俗芸能発表会が開催された。出場者は143名で来場者は約400名で目標を達成できなかった。また、町の民俗芸能を発信する目的で、沖縄本島で開催された久米島町観光・物産と芸能フェアへの派遣を行い、公演2日間で来場者は約800名であった。						

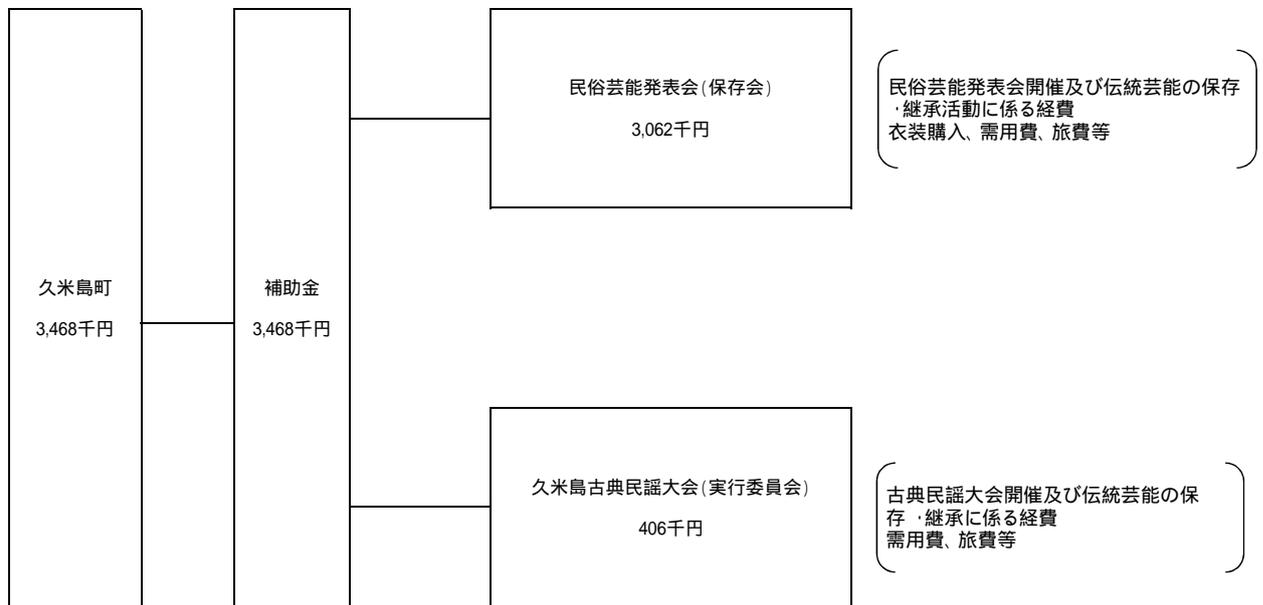
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	島の伝統芸能の充実・強化を図るためには、担い手の高齢化や島民(特に若年層～中年層)の人口減少が課題である。また、町民等が伝統芸能に触れる機会が減少しており、町民の伝統芸能に関する興味・関心が薄れている現状にある。	伝統芸能の保存・継承及び地域の活性化に寄与するためには、担い手にとっては発表の場を、町民や観光客等には伝統芸能に触れる場となるイベント開催の充実を図る。また、誰でも気軽に参加できるイベントになるよう、メディアの活用等を強化する。

今後の取り組み方針

観光協会や関係機関と連携を図り、観光客等が伝統芸能に触れられる機会を創出し観光産業として活用する。若年層～中年層の愛好者の底辺拡大に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,468	3,468	2,775	693	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

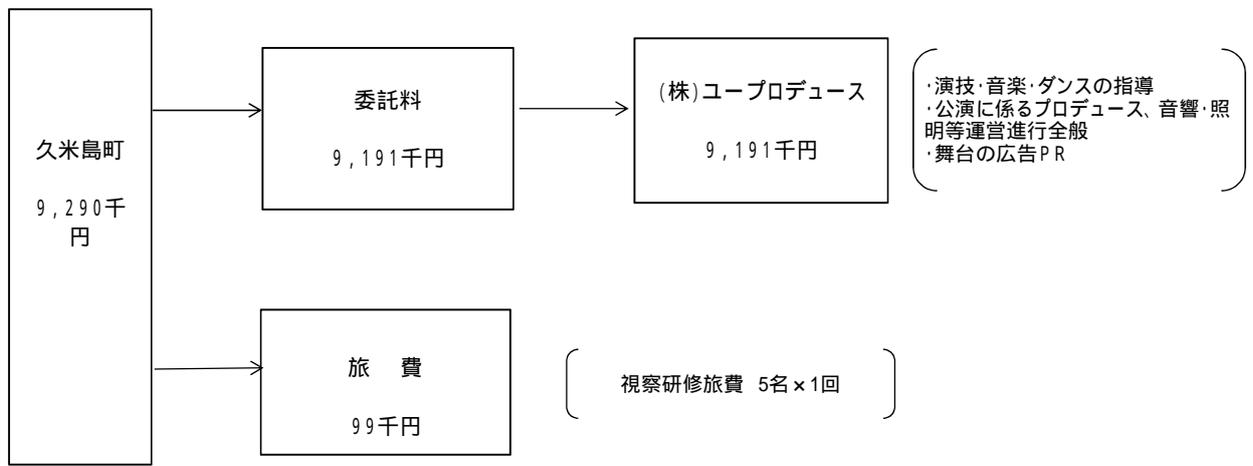
市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 - 久米島現代版組踊り創作事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (5) - ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり - 3 - (2)	
事業内容	・久米島の中高校生で久米島の歴史的遺産にスポットをあて、沖縄に古くから伝わる古典芸能「組踊り」をベースに、琉舞、エイサー、空手等の民俗芸能の要素を取り入れた現代版組踊りの舞台公演を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,088	-	7,989		
		(b)予算現額	2,088	-	9,290		
		(c)増減額(b-a)	0	-	1,301		
		(d)繰越額	-	2,088	-		
	A. 計(b+d)		2,088	2,088	9,290		
	B. 執行済額		0	2,016	9,290		
	うち交付金充当額		0	1,612	7,432		
	次年度繰越額		2,088	-			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	96.6%	100.0%		
予算の状況の説明		・出演者の育成や公演の充実を図る必要があったため、視察研修旅費及び委託料を当初予算から1,301千円増額補正した。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	久米島の歴史的按司の「笠末若茶良」を題材にした現代版組踊り公演の開催(1回)。	目標	()	(現代版組踊り公演)	()	()	
		実績		現代版組踊り公演			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	・高校生、中学生計40名で2月に公演を実施。公演は1回で300名観客を予定していたが、町民の観覧希望が多く、昼夜2回公演を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	現代版組踊り出演者数 30名	目標	()	()	(出演者 30名)	()	()
		実績			出演者 40名		
	現代版組踊り公演来場者数 300名	目標	()	()	(観客 300名)	()	()
		実績			観客 800名		
進捗状況説明	・久米島の中高校生40名によって、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを公演した。久米島の歴史的按司の「笠末若茶良」を題材に取り組んだ現代版組踊りは、町民800名が観覧し高い評価を得た。 URL: http://www.town.kumejima.okinawa.jp/education/education_index.html						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 久米島現代版組踊は、若い世代の文化活動、久米島の歴史的遺産再確認になり町民に高い評価を得たが、中高校生の出演者の確保、演劇指導者の育成、運営団体の強化が求められる。 町民より久米島観光PRの為に島外公演を要望が多くある。 	<ul style="list-style-type: none"> 中高校生の出演者の確保、演劇指導者の育成、運営団体の強化を行い組織の育成を図る。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 中高校生の出演者の確保、演劇指導者の育成、運営団体の強化を行い組織の育成を図る。 久米島でのイベント等での公演や他事業を活用し、島外での公演を行なうことで久米島の魅力のアピールを行なう。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,290	9,290	7,432	1,858	0



資金の流 れ、費 目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

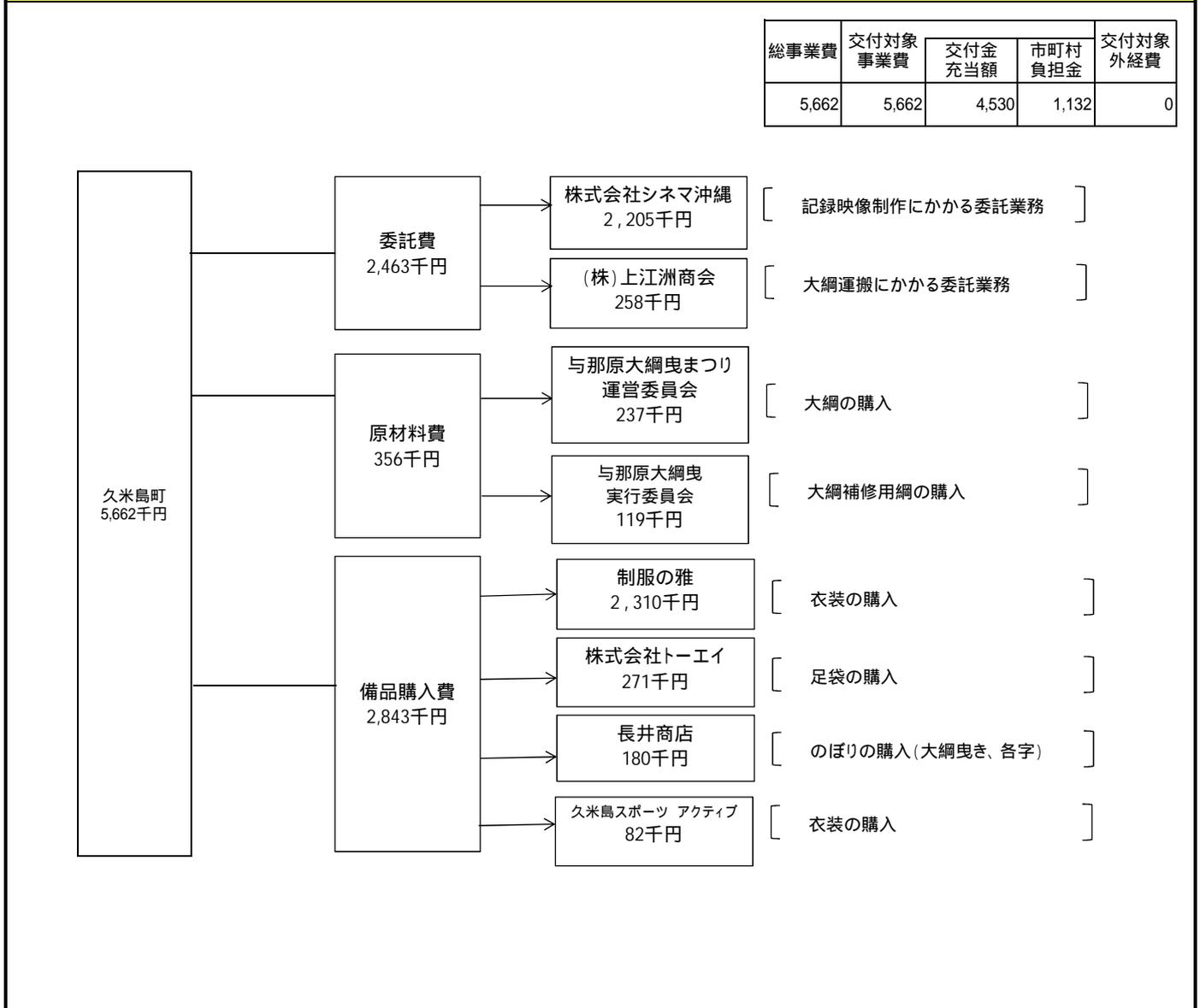
市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 - 大綱曳き保存復活事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
	担当部課名	プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(2)	
事業内容	伝統的行事の保存継承と文化的資源を活用した観光振興を図るため、合併以前、旧村(具志川村)で伝統行事として実施されていた大綱曳き10数年ぶりに復活させ、大綱曳きイベントを実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	0	6,000			
		(b)予算現額	0	6,000			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		0	6,000			
	B.執行済額		0	5,662			
	うち交付金充当額		0	4,530			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	94.4%			
予算の状況の説明		・不要額が338千円発生しているが、委託費の入札残額等によるものである。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	大綱曳きイベント記録映像制作	目標	(-)	(ト 記録映像制作)	()	()	
		実績	-	大綱曳きイベント記録映像制作			
	衣装購入	目標	(-)	(衣装購入)	()	()	
		実績	-	衣装購入			
達成状況説明	・13年ぶりに復活した大綱曳きイベント実施までの準備、取組状況等を含めた60分の記録映像を作成した。 ・大綱曳き実施に必要な衣装を一式200着を購入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	大綱曳きイベント記録映像制作	目標	()	(-)	(大綱曳きイベント記録映像制作)	()	()
		実績	/	-	大綱曳きイベント記録映像制作		/
	衣装購入	目標	()	(-)	(衣装購入)	()	()
		実績	/	-	衣装購入		/
	進捗状況説明	・地域資源の掘り起こしとして13年ぶりに大綱曳きを復活させ、その取組状況の記録映像制作及びイベント開催に必要な衣装が購入できた。以降3年に1度の開催方針が決まっているので本映像、衣装を活用し、継続的なイベント開催に繋げる足がかりができたことから、目標を達成した。 URL: http://www.town.kumejima.okinawa.jp/kouhoukumejima/2013/top_201309.html					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・13年ぶりの実施にあたり、イベント推進、運営体制について、以前は地域で取り組んでいた部分について、地域の人口減少等により取組が困難になってきているので、人の動員を主に地域にまかせ、イベントに必要な資材、機材等の準備については行政で行った。 ・大綱曳き開催はしたものの、イベントの進め方等について課題等の指摘も少なからずあった。 ・大綱の原材料である稲わらの確保については、今後とも困難なことが予想されるので引き続き調達先を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回制作した記録映像をもとに、次回開催に向け課題等について整理検討を行う。 ・特に、イベント推進の組織体制の充実やイベント進行方法については十分な検討を行う。 ・今回は大綱制作について、地元でできなかった為次回は、自前で制作できるように稲ワラ確保先の検討を行う。併せて、次回開催までに制作についての技術的な研修を行っておく必要がある。

今後の取り組み方針

・以降3年に一度の開催(平成28年度)が決定しているので、次期開催に向け次年度以降は、保存会を中心に準備を行う。
 ・特に、イベント進行シナリオの見直し、大綱づくりの技術的な研修を実施する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	備品購入(衣装購入)については、既製品がなく受注縫製のため取扱店が少なく、必要数量を指定期間に納入できる取扱店に限られているため随意契約とした。 費目・使途について額の確定時においてて支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

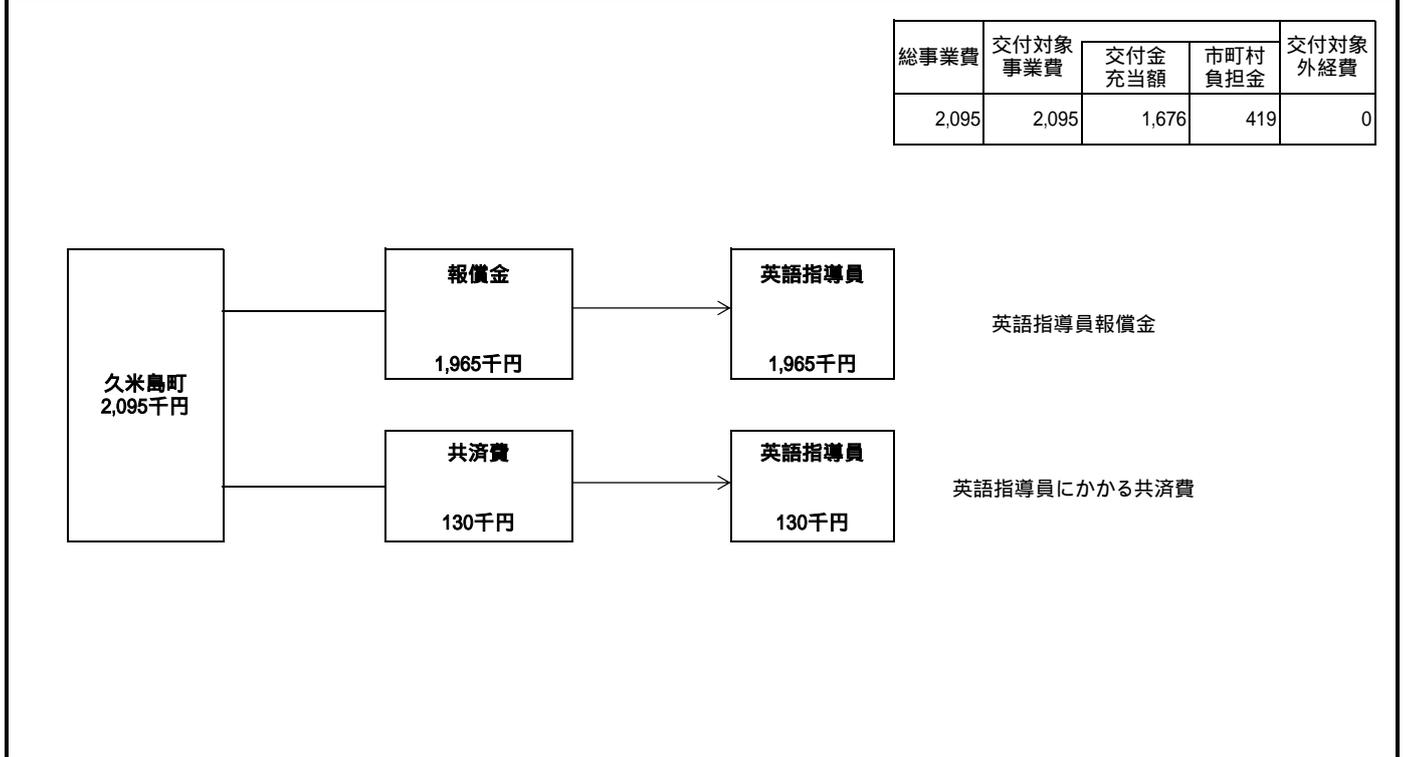
市町村名		久米島町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7 - 英語指導員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 5 - (4) - ア		
	担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 - 3 - (1)	
事業内容	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	1,483	2,482			
		(b)予算現額	1,293	2,482			
		(c)増減額(b-a)	190	0			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	1,293	2,482			
	B.執行済額		1,293	2,095			
	うち交付金充当額		1,033	1,676			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	84.4%			
予算の状況の説明		・不要額が387千円発生しているが、予算計上時の共済費算出誤りによるものである。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	英語指導員配置数:小学校1名	目標	(小学校1名)	(小学校1名)	()	()	
		実績	小学校1名	小学校1名			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	小学生3年生～小学校6年生において予定通り実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	英語指導員による授業時間数: 小学校3・4年生:120時間	目標	()	(小学校1名)	(120時間)	()	()
		実績		小学校1名	120時間		
	英語指導員による授業時間数: 小学校5・6年生:210時間	目標	()	()	(210時間)	()	()
		実績			210時間		
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・中学年においては英語を活用した歌、ダンス、チャンツに合わせて単語やセンテンスを体(リズム)を覚えさせることができた。 ・高学年においては英語を活用したコミュニケーション(発表・対話・交流)を中心に英語をツールとして児童同士の関わりを深めることができた。 ・担任の外国語活動の指導に関するスキルアップを図ることができた。 ・英語の事業に対するアンケートを実施し、授業の改善を図った。 					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	小学校低学年における英語を活用した授業実践が必要である。 小学校から中学校への移行にともなう外国語活動のスムーズな接続が必要である。	学校からの要望を聞き取りし、低学年における英語を活用した授業実践を時間割を調整し実施を検討する。(英語に慣れ親しむ) 中学校の外国語教諭と連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。 小学校でもリスニングをメインとして取り扱うことを前提とする。

今後の取り組み方針

担任教諭とのミーティング時間を確保し、さらなる授業改善に努める。(児童の実態を踏まえて)
 小中との接続を意識した授業改善に努める。(小学校6年生)
 児童に多くの単語・センテンスをリスニングさせ、英語に慣れ親しませる。(耳で覚える)

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		